

## 技術資料

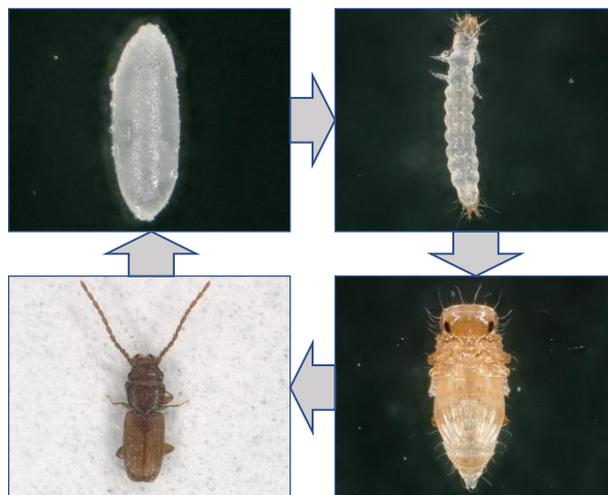
### カクムネチビヒラタムシ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)ヒラタムシ科

学名：*Cryptolestes pusillus*

英名：Flat grain beetle

別名：カクムネヒラタムシ  
カクムネコクヌスト



#### ■解説

本種は、世界の熱帯～亜熱帯に広く分布し、わが国では山形県酒田市以南の各地で見られ、年3～4回の発生と推定される。成虫・幼虫ともに穀粉、碎米およびその加工品などに発生する。

穿孔能力は劣るが、扁平な体のため包装資材の縫い目、ピンホール、シール不良部分から製品へ侵入することがある。

わが国からは、穀類を加害するヒラタムシ科として、本種の他にサビカクムネチビヒラタムシ (*Cryptolestes ferrugineus*)、トルコカクムチビネヒラタムシ (*Cryptolestes turcicus*) およびハウカクムネヒラタムシ (*Cryptolestes pusilloides*) が報告されている。これら4種は、形態が極めて類似しているため、同定は困難を要す。

#### ■体長

卵：0.58±0.02×0.15±0.01mm<sup>1)</sup>

幼虫：3mm前後<sup>2)</sup>

蛹：1.8mm前後<sup>2)</sup>

成虫：♀2mm内外 ♂2.3mm内外<sup>2)</sup>

#### ■産卵数<sup>3)</sup>

産卵数/生涯：約200卵 (*Cryptolestes spp.*)

#### ■ライフサイクル<sup>3)</sup>

卵～成虫：27～30日 (33℃ 80%R.H.)

#### ■発育零点 (発育停止温度)

—

#### 【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. Description of Eggs of Selected Species of Stored-Product Insects. Journal of the Kansas Entomological Society 47(3). 1974, p. 308
- 2) 原田豊秋. 食糧害虫の生態と防除. 光琳. 1971, p. 353
- 3) C.P.Haines et al. Insects and Arachnids of Tropical Stored Products: Their Biology and Identification (A Training Manual). Storage Department Tropical Development and Research Institute. UK. p. 273